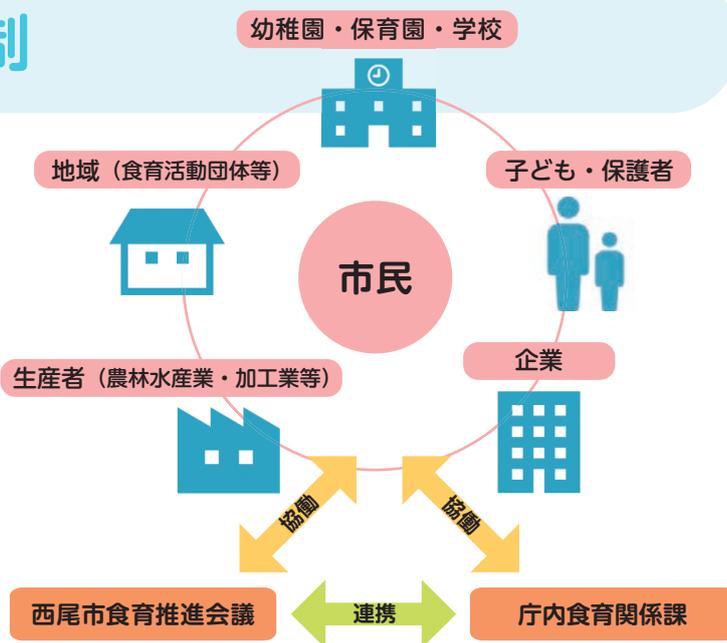


第5章 計画の推進と数値目標

1 計画の推進体制

各種事業は、西尾市食育推進会議の他、庁内食育推進関係課が、それぞれ連携を図りながら西尾市の食育を進めていきます。また、全市民が参加・協力して食育を推進するネットワークの構築を検討し、多くの市民が参加できる体制をつくります。



2 計画の進捗管理

この計画を円滑に進めるため、中間評価を行い、計画の進捗状況を確認し、必要に応じて取組内容を修正していきます。

3 新しい生活様式における計画の推進

新型コロナウイルス感染症などの感染症防止策を日常生活に取り入れた「新しい生活様式」において食育を着実に実施していきます。また、より多くの市民が主体的、効果的に食育を実践できるよう、オンラインなどICT技術を有効活用していきます。

4 食育の推進による「SDGs」達成への貢献

食育の推進により、SDGsの17の持続可能な目標の全てに貢献ができると考えます。食育を推進する取組主体が、ネットワーク形成や働きかけ、情報共有などを行い、各課題について連携して取り組むことで、SDGs達成へ貢献していきます。



5 数値目標

指 標	対 象	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和8年度)
食育に関心のある人の割合	18歳以上	60.1%	90%
「西尾市食育キャラクター」を知っている人の割合	小中学生	69.4%	80%
	18歳以上	11.7%	40%
「食育プログラム」を知っている人の割合	18歳以上	6.4%	30%
毎日の食事が楽しいと思う人の割合	小中学生	75.2%	85%
	18歳以上	66.2%	80%
1日に1回は、だれかと一緒に食事をする人の割合	18歳以上	85.5%	90%
子ども、孫などと食について話す人の割合	18歳未満の家族と同居する人	42.5%	60%
家庭で料理や食事のお手伝いをしている子どもの割合	小中学生	81.3%	85%
ほとんど毎日朝食を食べる人の割合	小中学生	83.6%	98%
	20歳代	66.0%	85%
栄養バランスを考えた食事をする人の割合	18歳以上	31.7%	50%
食育に関する行動や活動をする人の割合	18歳以上	39.2%	50%
郷土料理、伝統食を知っている人の割合	18歳以上	34.3%	50%
農林漁業体験に全学年で取り組む小学校の割合（※1）	小学生	50.0%	100%
地産地消という言葉を知っている人の割合（※2）	小中学生	37.2%	70%
西尾産を優先購入している人の割合	18歳以上	44.9%	60%
学校給食における西尾市産物を利用する割合（※3）	小中学校	9.8%	30%
日頃から環境に配慮した食材・食品を選んでいる人の割合	18歳以上	55.5%	70%

※1 各学校に個別で調査を行います。

※2 地産地消という言葉を知っている人の増加について小学3年生は含みません。

※3 「地場産品活用状況調査」により把握します。西尾市産物の割合は「(産品数) / (食品数) × 100%」で求めます。